

名古屋丸の内ロータリークラブ Weekly Report

例会場 名古屋クレストンホテル TEL 052-264-8000
 例会日時 木曜日 12:30
 クラブ会報広報委員長 立石ゆかり
 HP <http://rc.nagoya-seinan.org/>

2021-22年度 RI.テーマ
 会長 シェカール・メータ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

承認 1995.3.28
 会長 亀井 克典
 幹事 松尾雄二郎
 事務局 名古屋市中区栄 3-29-1
 名古屋クレストンホテル 1007号
 TEL 052-263-1324
 FAX 052-263-0730
 Email seinan1@fancy.ocn.ne.jp

亀井克典会長 年度目標 : ポストコロナの時代に向けて、新たな親睦、交流、奉仕の活動をはじめよう

第1185回 例会 No. 22 令和4年4月14日 (木)

- ロータリーソング 「我等の生業」「四つのテスト」
- 出席報告 会員 44 名中 15 名出席
- 出席率 36.59% 出席計算人数 41 名
- ゲスト 地区青少年交換委員会
 副委員長 城所一也さん
 委員 酒井憲一さん
- スピーカー 地区社会奉仕委員 後藤 徹さん

会長挨拶

亀井克典



城所様、酒井様、本日はわざわざお越しいただきありがとうございます。今日はロータリーの友の記事で少し気になった記事がありご紹介したいと思います。新潟県の十日町ロータリークラブ

のカルベンクスさんと言うドイツ人の方の紹介記事がありました。建築家で古民家を再生するお仕事されています。1942年にドイツで生まれ今は80歳位になられていると思います。パリで生活されていた時に空手が趣味で、空手の修行のために1966年来日され、その後、建築デザイナーとして日本とドイツを往復されていた時に、日本の伝統家屋に魅せられてから、古民家の再生を仕事にされています。ルフトハンザ航空のCAだったクリスティーナさんと結婚されて、現在は1993年に新潟県の十日町という大変豪雪地帯の竹所で古民家に出会い、そこを改修して住人になられたと言うことです。全国や世界の、日本の古民家の再生、改修、改築などを生業にされていて、大変ニーズが高いと言うことでした。私自身も20代後半の頃は十日町の山奥の南魚沼地方で、そこは大変な豪雪地帯でして、その公立病院に勤務しておりました。最大で2m50位雪が降りました。そういう豪雪地帯に何年か住んでいたものだから、十日町はそこよりもっと田舎なので、よくそんなところにドイツの方が生活されているなどと思います。ご本人も奥さんも、冬は雪が深く大変ですが、春の芽吹き、夏にかけての自然豊かな風土、それから人情が非常に厚いと言うことで、非常に気に入られて、現在も生活されています。私自身も一時このまま新潟に住もうかなと思いましたが、豪雪なので妻が大変反対をしまして新潟を離れました。このクリスティーナさんとい

う奥さんも、一時は反対されていたそうですが、実際に移住してみて大変気に入られて、生活されているみたいです。古民家再生ですが、結構壁が薄くてすきま風が入って生活ができないということで、断熱材を入れたり、キッチンなんかもシステムキッチンにしたり、お風呂やトイレも非常にモダンな形で改修されているということです。彼らのいる竹所と言うところは奇跡の集落と言われ、限界集落で人口減少が激しかったのですが、カールさんが移住されて以降、古民家を再生するということで、十日町の周辺や、東京から移住者が増えて、現在人口も増えて、平均年齢も70歳位が40歳位に下がり、子供も多くなり、奇跡の集落と呼ばれているそうです。彼の言葉ですごく印象に残ったのは、日本は、家屋古民家を大事にせずに打ち捨てているということに関して、日本にはこんなに良い古民家があるのに、せいぜい30年ぐらいいかもたない家を作っている。まるで宝石を捨てて砂利を集めているようなものだと言うふうに言われています。すごく的を得た言葉であります。私達も古いもの、伝統といったことを、もう一度良さを見直す時が来たようです。皆さんはどう思われるでしょうか。以上ロータリーの友から少し紹介をさせていただきました。今日のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

ニコBOX

城所一也様 酒井憲一様 お招きいただきありがとうございます。交換プログラムへのご協力に感謝申し上げます。

●本日は会員卓話です。後藤 徹さん よろしくお願いたします。

亀井会長、堀江亮介、加藤、松尾、水野、西川、立石、田中、岩田、今村、長谷川 (敬称略)

後藤さん 久しぶりの卓話です。よろしくお願いたします

山崎さん 長い間お休みしていて、すいませんでした。

安江さん 後藤さんのお話を楽しみに久しぶりに出席しました。

●春のニコニコ感謝 DAY 6名

本日合計 47,000円

今後の例会予定

4月21日(木)例会変更「WFF」 4/23・24 久屋大通公園

4月29日(木)休会(4/29「昭和の日」)

5月5日(木)休会(5/3-5 祝日)

5月12日(木)卓話 名古屋中央RAC 都築瑠衣さん

ウクライナ人道的支援募金

4月7日、14日の例会にて、また振込にてウクライナへの寄付にご協力いただき心より感謝申し上げます。ロータリー日本財団を通じて送金致します。

合計 1,400,000 円

地区青少年交換副委員のお話

地区青少年交換副委員長 城所一也



次年度名古屋丸の内ロータリー様が、青少年交換プログラムに参加いただけると言うことで受け入れる交換留学生のアプリケーションを持ってこちらにお邪魔させていただきました。

「青少年交換プログラムは初めての経験なので、例会にて少し簡単に制度を伝えて下さい」と言うことでしたので、5分ほどお時間をいただきましたので、説明させていただきます。RI 青少年交換プロジェクトは、よく米山留学生と比較されますが米山留学生の方が少し世代が上で大学生や社会人になりますが青少年交換プロジェクトは基本的には高校生です。日本の高校生を海外に派遣して、その交換と言うことで同じ国からこちらに受け入れると言うプログラムです。結構歴史は古く、この2760地区が一番最初に始めたのは、1968年54年前です。今まで世界で交換した高校生の数が9333人です。2760地区過去10年間で90名を交換しております。受け入れクラブが何をやるかということですが、丸の内様にはフィンランドから女性の高校生がやってきます。ルネラウッコネンさんという方が、8月の下旬ぐらいに日本に入国して、約11ヵ月間日本で生活をします。その間ホストファミリー3カ所4カ所をホームステイしながら日本の高校に通って日本の文化を身に付けるということでございます。丸の内ロータリーの、会員様におかれましては、例会に彼女がやってきますので、フレンドリーに接していただければと思います。フィンランドはここ2年、コロナで中断していました、フィンランドは日本に対して非常に友好国でして、フィンランドの担当者は非常に優秀な学生を選んでくれますので、彼女のプロフィールの中でも日本語は3年半学んでいると言うことでやってきますので、本当にフレンドリーに接していただければ大丈夫だと思います。ただひとつだけですね、毎年いろんなクラブさんから言われますが、「なんかあの子元気がないよね」と言われます、氷点下20度まで下がる国から名古屋へやってくるので、8月に来ると大体暑さで元気がないですが、11月位になるとだんだん元気になってきますので、そこだけご了解していただければなと思います。丸の内ロータリーさん初めてこのプログラムに参加と言うことで、国際親善ですので、これをきっかけとしてますますの丸の内ロータリークラブさんの発展をお祈りしております。これにて私の挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。

地区社会奉仕委員会に出向して

社会奉仕委員 後藤 徹



地区の社会奉仕委員会は、社会奉仕と環境保全とRCCがあります。私は社会奉仕担当の副委員長でした、環境保全は今SDGsに取り組んでいます。そしてRCCと言うのはロータリーの地区共同隊、世界で80カ国位、約7200隊。日本は今34隊でうちの半分が2760地区です。今度7月からの委員長は、RCCに力を入れたいと申しています。私は今期で本当は終わるはずでしたが、今若い副委員長に教えています。

WFFではメインの方はイベント会社の方が進行してサブステージの方を、当委員会が進行します。社会奉仕委員会の卓話ですが、大体委員長と副委員長あるいは委員が必ず一緒にペアになっていきます。委員長が社会奉仕の総論を話して、副委員長が環境保全とかRCCの話をする。私も卓話は何箇所か行きましたが、他のクラブに行くと、クラブのいろんな状況が分かります。私が初めて行った刈谷ロータリーでは会員数100名で出席95名です。すごいです。大体90名を切ることがないらしいです。先日豊田ロータリーに行きました。そこもやはりすごい出席率です。やはり刈谷も豊田もガバナーを出しているクラブですので、やっぱりそれだけ例会に重みがありました。豊田ロータリーに行った時に、ガバナーノミー今の籠橋エレクトの次にやる方がお見えになりまして、クラブで聞いたら会長の経験をしていないので、この7月からガバナーエレクトをやりながら、クラブ会長をやるそうです。籠橋エレクトが2年前に、ちょうどWFFの会議に出たときに、名刺をいただいたのですが、ガバナーノミーの前は何と言うのか皆さん知っています？私もそういった名刺をもらって初めて知りましたが、ガバナーノミーデグジナイトです。こういうこともいろんな所へ行ってもわかることですので、本当は今日は若い方がいたら、地区に出向したほうがいい、とお伝えしたく卓話を引き受けました。皆さん若い方にそういう話をしていただけたらいいなと思います。地区の委員会と言うのは、コロナ禍の前は終わってから食事してみんなで盛り上がり親睦を深めるんですが、今はそれがなかなかできません。中には委員会に出てきたのに、何も発言もせず、1時間半お見えになる方がいますが、それはもったいないと思うので、やるのなら楽しくやった方がいいと思っております。今年初めてzoomでやりました。司会をやる委員が2日前に仕事で突然キャンセルし、私が急遽司会をしましたが相手が見えないのは非常に難しかったですがいい経験をさせていただきました。結構地区に出て各委員会を渡り歩く方もおります。社会奉仕委員会の委員長をやった後に今国際奉仕委員会の委員長している方もみえます。クラブの会長をやらずほとんど地区ばかりに出ている方もみえます。今のガバナーエレクト籠橋さんは、地区の委員で副委員長をやらなければ3年で変わりなさいとおっしゃっています。委員長とか副委員長やったら3年かもっと早く変わりなさいと。自分のクラブに出てくるのもいいですが、地区で皆さんとワイワイやるのも楽しいと思います。是非そういうことを若い皆さんに伝えて欲しいと思います。今日の私の卓話を終わらせていただきます。